



### おもてなしの心

綾部 真宙

「おもてなしの心は日本特有の文化である。」この研修に参加するまで、私はこのように思っていた。しかし、それは違った。私は、研修中の様々な場面で、インドネシアの人々のおもてなしの心に感銘を受けた。

まず、私たちがジャカルタの SMAN 62 という高校を訪問したとき、多くの学生があふれんばかりの大歓声で出迎えてくれたのが印象的だった。その後のプログラムでは、学生による民族舞踊や民族楽器の圧巻のパフォーマンスがあった。この日のために準備や練習をしてくれたということが、私はとてもうれしかった。

ホームビジットの際も、ホストファミリーのおもてなしに心打たれた。お家に入ると、まずたくさんのお土産をもらい、その後はランチタイムでたくさんの料理を提供してくれた。ホストファザーは、私たちのために飲み物を買って行ってくれた。他にも、私たちが民族衣装を試着させてもらい、楽しそうに写真を撮っていると、急遽その衣装をプレゼントしてくれることになった。ホストファミリーの粋な計らいに、私は感動した。

私はこの研修を通して、「おもてなしの心」が日本人だけでのものではないことに気づいた。その心は、インドネシアの人々にも確かに存在していた。私は、一人ひとりの「おもてなしの心」が、助け合いを生み、パートナーシップを結び、国際協力につながると考える。だからこそ私は、些細なことでも「おもてなしの心」を忘れずに、これからの人生を歩んでいきたい。